

公益財団法人とかち財団 令和4年度の組織体制について

～第3期産業活性化ビジョンの推進に向けた事務局組織体制の改編～

1. 改編理由・目的

令和4年度からの「第3期産業活性化ビジョン」に掲げる3つの重点事項を着実に遂行するには、新ビジョンに対応する事業再編の内容（公益目的事業を「ものづくり支援」「事業創発支援」の2本とする等）を踏まえ、より機能的・効果的に業務を推進できる体制を構築する必要があります。

については、新ビジョンの開始に合わせ、令和4年4月1日付で事務局の組織改編を実施いたします。

2. 改編内容・ポイント（新旧対照表：別紙）

第3期ビジョン 重点事項と展開方向	改編の目的・内容	
<p>【1】ものづくり産業の競争力・生産性の向上 (ビジネスに結び付く 技術モデルの創出・提案)</p>	<p>部は存続／Gを再編</p>	<p>【ものづくり支援部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術部門の2グループは名称を変更した上で存続し、研究開発・技術支援業務を引き続き担当する。 ・十勝ブランド推進業務は食品技術支援の一環とし、食品技術Gが承継する。
<p>【2】事業創発の持続性の確立 (共創型支援による 多彩な事業創発機会の創出)</p>	<p>総合企画部の所管業務を分割し、新たに2部・1室を設置する</p>	<p>【事業創発支援部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LANDの機能強化を図るための部署を設置する。 (事業創発支援Gの業務を承継)
<p>【3】組織運営の最適化 (組織全体の生産性を向上する 運営体制・システムの構築)</p>		<p>【総務管理部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織運営(会計経理・施設管理等)の円滑化を図るための部署を設置する。(総務管理Gの業務を承継)
		<p>【戦略調整室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部署間の機能連携を促進して組織力強化に取り組むため、「組織横断的なスタッフ部門」として、総合調整・特命業務等に従事する部署を設置する。 (経営企画Gの業務を承継) ・専従者1名及び各部からの兼務者で構成する ・外部資金管理、資産運用、展示会出展等の業務を実施するにあたり、必要に応じて部署横断による推進チームを構成して対応する。

以 上

公益財団法人とかち財団 令和4年度の組織体制について
 ～第3期産業活性化ビジョンの推進に向けた事務局組織体制の改編～
 新旧対照表

